

## Ⅱ 会話に役立つ“了”の使い方

(a)…を～した：動詞＋“了”＋目的語

「昨日は何をしましたか」と聞かれて、こう答えました。

**\*昨天我看了电影。** Zuótiān wǒ kànle diànyǐng. (昨日、私は映画を観ました)

ネイティブは普通こういう言い方はしません。最低限の約束事として、「どんな・どのように・それからどうした」など具体的な内容もいっしょに話さなければなりません。

①「どんな」をプラスしてみましょ。

**昨天我看了周杰伦的电影。** Zuótiān wǒ kànle Zhōu Jiélùn de diànyǐng. (昨日、私はジェイ・チヨウの映画を観ました)

ネイティブにとって最も簡単で言いやすい「どんな」があります。それは量詞です。「どんな」を加えるなら、まず量詞を考えてください。

**昨天我看了一部电影。** Zuótiān wǒ kànle yí bù diànyǐng. (昨日、私は映画を観ました)

②「どのように」をプラスします。

**昨天我跟朋友一起看了电影。** Zuótiān wǒ gēn péngyou yìqǐ kànle diànyǐng. (昨日、私は友達といっしょに映画を観ました)

③「それからどうした」をプラスします。

**昨天我看了电影，然后去吃了晚饭。** Zuótiān wǒ kànle diànyǐng, ránhòu chīle wǎnfàn. (昨日、私は映画を観てから、晩ごはんを食べました)

こんなふうに述べて、やっと言い切りになります。言い切りとは、一応「。」が打てるという意味です。実際のコミュニケーションシーンでは、まだ何だかんだと話は続くのですが、「。」が打てる位置が分かると作文に役立ちますね。

(b)…を～した：動詞＋目的語＋“了”

**昨天我看电影了。** Zuótiān wǒ kàn diànyǐng le. (昨日、私は映画を観たんですよ)

(b)はこれだけで言い切りになります。言い切りだけを考えるなら、いつも文末に“了”を置けばいいのですが、なかなかそういう訳にもいきません。(a)がそれ自体フラットな一般的叙述なのに対して、(b)は何かの感情が加わったエモーショナルな言い方です。例えば、いい映画を観て感動したとか、悲しい内容だったとか、誰かに伝えたい等々、気持ちが波立ったときにこそ文末に“了”が置かれます。

(a)は一見ややこしいですが、パターンを覚えれば不自然な中国語になりにくいので、こちらを第一の選択にしてください。